



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月5日

上場会社名 古河電気工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5801 URL <https://www.furukawa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小林 敬一
 問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長 (氏名) 増田 真美 (TEL) 03(3286)3050
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|--------|-------|--------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第3四半期 | 676,162 | △8.5 | 15,291 | △50.2 | 13,868 | △51.6 | 7,447 | △60.1 |
| 2019年3月期第3四半期 | 738,633 | 5.0 | 30,705 | △7.7 | 28,659 | △17.5 | 18,686 | △36.1 |

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 7,455百万円(△45.5%) 2019年3月期第3四半期 13,673百万円(△68.6%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第3四半期 | 105.66 | — |
| 2019年3月期第3四半期 | 265.12 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年3月期第3四半期 | 814,162 | 282,634 | 30.7 |
| 2019年3月期 | 818,021 | 279,911 | 30.3 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 249,871百万円 2019年3月期 247,659百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | — | 0.00 | — | 85.00 | 85.00 |
| 2020年3月期 | — | 0.00 | — | | |
| 2020年3月期(予想) | | | | 85.00 | 85.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|--------|-------|--------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 900,000 | △9.2 | 20,000 | △51.0 | 18,500 | △52.7 | 10,000 | △65.6 | 141.87 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2020年3月期3Q | 70,666,917株 | 2019年3月期 | 70,666,917株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年3月期3Q | 179,654株 | 2019年3月期 | 180,548株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2020年3月期3Q | 70,487,057株 | 2019年3月期3Q | 70,484,755株 |

※ 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)にかかる信託口が保有する当社株式が含まれておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (四半期連結損益計算書関係) | 8 |
| (セグメント情報) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）の当第3四半期連結累計期間の業績は、情報通信ソリューション事業における欧州やアジアを中心とした光ファイバ・ケーブル価格下落に対し安易に追随しなかったことによる減収、及び北米光ケーブルの生産性改善の遅れによりインフラセグメントが対前年で減益となり、また電装エレクトロニクスセグメントおよび機能製品セグメントも市況悪化の影響により減益となりました。

その結果、売上高は6,762億円（前年同期比8.5%減）、営業利益は153億円（前年同期比50.2%減）となりました。経常利益は139億円（前年同期比51.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は74億円（前年同期比60.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報）」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおり、事業セグメントの区分を変更しております。

以下の前年同期比較の数値については、前期の数値を変更後の区分で組み替えた数値との比較となっております。

〔インフラ〕

情報通信ソリューション事業では、デジタルコヒーレント関連製品が増収であったものの、欧州とアジアを中心とした光ファイバ・ケーブル価格下落に対し安易に追随しなかったことによる減収、北米光ケーブルの生産性改善の遅れなどにより、利益を圧迫しました。一方、エネルギーインフラ事業では、国内の地中線案件需要を着実に取り込むなど、業績改善に向けた取組みを着実に実行しました。これらの結果、当セグメントの売上高は2,041億円（前年同期比3.9%減）、営業利益は3億円（前年同期比93.2%減）となりました。

〔電装エレクトロニクス〕

巻線事業の自動車用途の売上が堅調である一方、スマートフォンをはじめとしたエレクトロニクス関連の需要低迷の長期化、また自動車部品事業において、ワイヤハーネスの売上減少及び2020年度以降の案件に向けた研究費、償却費等の固定費が増加していることから、当セグメントの売上高は3,788億円（前年同期比9.0%減）、営業利益は100億円（前年同期比28.4%減）となりました。

〔機能製品〕

好調であった前期と比較して、データセンタ、メモリ、スマートフォン等の需要が低迷しており、また2019年6月に発生した銅箔事業の台湾子会社における火災の影響による減収により、当セグメントの売上高は879億円（前年同期比26.3%減）、営業利益は54億円（前年同期比54.2%減）となりました。

〔サービス・開発等〕

主に物流、各種業務受託等による当社グループの各事業のサポート、不動産の賃貸、水力発電、新製品研究開発の推進等のサービス・開発等の事業を行っております。

当セグメントの売上高は388億円（前年同期比7.4%増）、営業損失は3億円（前年同期比5億円悪化）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ39億円減少して8,142億円となりました。棚卸資産が96億円、有形固定資産が203億円増加しましたが、現金及び預金が66億円、受取手形及び売掛金が202億円、繰延税金資産が41億円、その他の資産項目で28億円減少しました。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ66億円減少して5,315億円となりました。長期借入金、短期借入金、社債を含む有利子負債が2,612億円と152億円増加しましたが、支払手形及び買掛金が130億円、製品補償引当金が102億円減少しました。

純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純利益で74億円増加しましたが、配当金の支払や為替換算調整勘定により、前連結会計年度末に比べ27億円増加して2,826億円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から0.4ポイント上昇し30.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の連結業績予想につきましては、2019年11月5日に公表した業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2020年2月5日に公表いたしました「2020年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 44,628 | 38,007 |
| 受取手形及び売掛金 | 219,347 | 199,164 |
| 有価証券 | 2,371 | 1,553 |
| 商品及び製品 | 40,169 | 42,051 |
| 仕掛品 | 36,956 | 41,521 |
| 原材料及び貯蔵品 | 45,764 | 48,873 |
| その他 | 32,365 | 27,519 |
| 貸倒引当金 | △1,090 | △1,354 |
| 流動資産合計 | 420,513 | 397,336 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 216,932 | 227,754 |
| 機械装置及び運搬具 | 467,247 | 476,834 |
| 工具、器具及び備品 | 71,977 | 74,241 |
| 土地 | 36,777 | 36,693 |
| その他 | 39,888 | 47,006 |
| 減価償却累計額 | △603,463 | △612,882 |
| 有形固定資産合計 | 229,360 | 249,648 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,751 | 2,242 |
| その他 | 9,453 | 11,827 |
| 無形固定資産合計 | 12,204 | 14,070 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 119,188 | 120,767 |
| 繰延税金資産 | 13,644 | 9,577 |
| 退職給付に係る資産 | 5,633 | 6,522 |
| その他 | 18,647 | 17,331 |
| 貸倒引当金 | △1,172 | △1,091 |
| 投資その他の資産合計 | 155,942 | 153,107 |
| 固定資産合計 | 397,508 | 416,826 |
| 資産合計 | 818,021 | 814,162 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 131,422 | 118,464 |
| 短期借入金 | 106,710 | 129,286 |
| コマーシャル・ペーパー | — | 8,500 |
| 未払法人税等 | 3,893 | 2,882 |
| 製品補償引当金 | 28,400 | 18,184 |
| その他 | 61,193 | 58,276 |
| 流動負債合計 | 331,621 | 335,594 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 20,000 | 30,000 |
| 長期借入金 | 119,298 | 93,411 |
| 環境対策引当金 | 10,691 | 10,579 |
| 退職給付に係る負債 | 47,731 | 48,149 |
| 資産除去債務 | 1,246 | 1,265 |
| その他 | 7,520 | 12,527 |
| 固定負債合計 | 206,488 | 195,933 |
| 負債合計 | 538,109 | 531,527 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 69,395 | 69,395 |
| 資本剰余金 | 22,535 | 22,710 |
| 利益剰余金 | 151,744 | 154,908 |
| 自己株式 | △600 | △597 |
| 株主資本合計 | 243,074 | 246,416 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 21,788 | 23,458 |
| 繰延ヘッジ損益 | 124 | △99 |
| 為替換算調整勘定 | △8,937 | △12,199 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △8,391 | △7,704 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,584 | 3,455 |
| 非支配株主持分 | 32,252 | 32,763 |
| 純資産合計 | 279,911 | 282,634 |
| 負債純資産合計 | 818,021 | 814,162 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 738,633 | 676,162 |
| 売上原価 | 612,400 | 564,824 |
| 売上総利益 | 126,232 | 111,337 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売費 | 30,636 | 29,718 |
| 一般管理費 | 64,891 | 66,328 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 95,527 | 96,046 |
| 営業利益 | 30,705 | 15,291 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 448 | 439 |
| 受取配当金 | 1,540 | 1,538 |
| 持分法による投資利益 | 804 | 1,265 |
| その他 | 1,584 | 1,182 |
| 営業外収益合計 | 4,377 | 4,425 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,990 | 3,328 |
| 為替差損 | 1,037 | 411 |
| その他 | 2,395 | 2,108 |
| 営業外費用合計 | 6,423 | 5,848 |
| 経常利益 | 28,659 | 13,868 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産処分益 | 3,495 | 3,124 |
| 投資有価証券売却益 | 380 | 1,481 |
| その他 | 564 | 288 |
| 特別利益合計 | 4,440 | 4,894 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 2,220 | 357 |
| 火災損失 | — | *1 735 |
| その他 | 1,092 | 2,667 |
| 特別損失合計 | 3,313 | 3,760 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 29,785 | 15,002 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,210 | 3,928 |
| 法人税等調整額 | 3,306 | 2,765 |
| 法人税等合計 | 8,517 | 6,694 |
| 四半期純利益 | 21,268 | 8,308 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 2,581 | 860 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 18,686 | 7,447 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 21,268 | 8,308 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △5,920 | 1,840 |
| 繰延ヘッジ損益 | △262 | △192 |
| 為替換算調整勘定 | △1,438 | △1,994 |
| 退職給付に係る調整額 | 407 | 676 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △381 | △1,182 |
| その他の包括利益合計 | △7,594 | △852 |
| 四半期包括利益 | 13,673 | 7,455 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 11,426 | 6,395 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 2,246 | 1,060 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外子会社において、第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号(リース)を適用しております。IFRS第16号の適用に当たっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

これに伴い、過去にIAS第17号を適用してオペレーティング・リースに分類した借手としてのリースについては、適用開始日に使用権資産及びリース負債を認識しております。また、投資その他の資産のその他に含めていた一部の資産についても有形固定資産への振替を行っております。

その結果、当該会計基準の適用に伴い、当第3四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表において、有形固定資産その他(減価償却控除後)が7,259百万円、流動負債その他が1,211百万円及び固定負債その他が5,232百万円それぞれ増加しており、投資その他の資産のその他が757百万円減少しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の損益に及ぼす影響は軽微であります。

(四半期連結損益計算書関係)

* 1. 火災損失

2019年6月18日に発生した当社連結子会社の台日古河銅箔股份有限公司における火災事故の影響による損失額であり、その内訳は、棚卸資産・固定資産の滅失損失、復旧に係る費用等であります。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|------------|---------|----------|---------|--------------|--------------------------------|
| | インフラ | 電装エレクトロニクス | 機能製品 | サービス・開発等 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 207,903 | 394,506 | 111,806 | 24,415 | 738,633 | — | 738,633 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 4,453 | 21,950 | 7,404 | 11,684 | 45,493 | △45,493 | — |
| 計 | 212,357 | 416,457 | 119,211 | 36,100 | 784,126 | △45,493 | 738,633 |
| セグメント利益 | 4,618 | 13,905 | 11,869 | 261 | 30,654 | 50 | 30,705 |

(注) 1. セグメント利益の調整額50百万円には、主に未実現利益の消去等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの区分方法及び利益又は損失の測定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、従来「サービス・開発等」に含めていた一部事業について、事業化の見込みがたつたことにより管理所管の見直しを行い、報告セグメントの区分を「インフラ」に変更しております。

また、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるため、当社の本部費用等の配賦方法を変更しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|------------|--------|----------|---------|--------------|--------------------------------|
| | インフラ | 電装エレクトロニクス | 機能製品 | サービス・開発等 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 200,100 | 366,338 | 83,285 | 26,437 | 676,162 | — | 676,162 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 3,962 | 12,440 | 4,572 | 12,317 | 33,293 | △33,293 | — |
| 計 | 204,063 | 378,778 | 87,858 | 38,755 | 709,455 | △33,293 | 676,162 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 314 | 9,962 | 5,438 | △285 | 15,430 | △139 | 15,291 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△139百万円には、主に未実現利益の消去等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの区分方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、従来「電装エレクトロニクス」に含めていた一部事業について、開発を更に加速すべく管理所管の見直しを行い、報告セグメントの区分を「サービス・開発等」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の方法で作成したものを開示してまいります。